

速水御舟とその周辺

The Roots and Legacy of Gyoshu Hayami,
Master of Japanese-style Painting

大正期日本画の俊英たち

●出品作家●松本楓湖／今村紫紅／速水御舟／小茂田青樹／小山大月／牛田雞村／黒田古郷／高橋周桑／吉田善彦



速水御舟《菊花園》(部分) 1921年 ※後期展示

2015年5月2日|土|—7月5日|日| Setagaya Art Museum 世田谷美術館

前期: 5月2日|土|—5月31日|日| / 後期: 6月2日|火|—7月5日|日| *作品保護のため前期・後期で大幅な展示替えを行います

開館時間: 午前10時—午後6時(入場は午後5時30分まで) 休館日: 毎週月曜日(但し、この日が祝休日の際は開館し、翌日休館)、5月4日—6日は開館し、5月7日休館

主催: 世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団) 後援: 世田谷区/世田谷区教育委員会 協力: 日本通運/損保ジャパン日本興亜 助成: 芸術文化振興基金

出品協力: 青梅市立美術館/三溪園/滋賀県立近代美術館/茂原市立美術館・郷土資料館/横浜美術館

観覧料: 一般1200(1000)円/65歳以上1000(800)円/大高生800(600)円/中小生500(300)円 ※()内は20名以上の団体料金

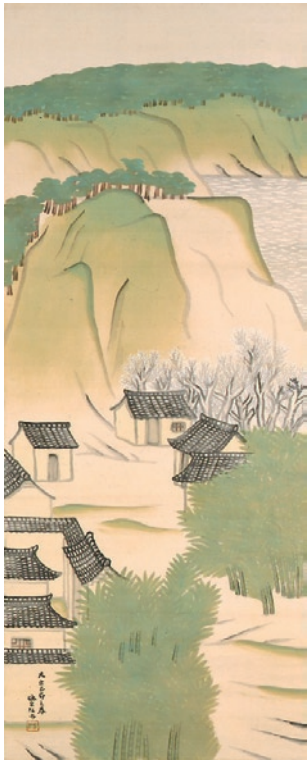
※障害者の一般の方は500円(介助の方1名までは無料)、大高中小生の障害者の方は無料

※リピーター割引(会期中): 本展有料チケット半券のご提示で2回目以降の観覧料が団体料金になります

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 展覧会のご案内: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) <http://www.setagayaartmuseum.or.jp>



芸術文化振興基金助成事業



今村紫紅《蓬萊郷》1915年 川崎市立美術館 ※後期展示



速水御舟《洛北修学院村》1918年 滋賀県立近代美術館 ※前期展示



速水御舟《平野晴景》1924年 西丸山和楽庵



牛田雞村《白鷺図》昭和初期 三溪園 ※前期展示

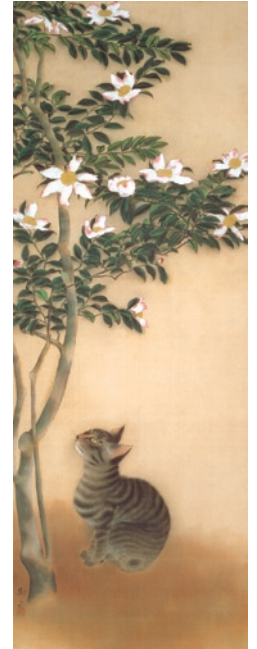


小茂田青樹《四季草花園・夏》1919年 滋賀県立近代美術館 ※前期展示

速水御舟とその周辺 大正期日本画の俊英たち



小茂田青樹《麗日》1926-28年 川崎市立美術館 ※前期展示



速水御舟《山茶花に猫》1921年 西丸山和楽庵

短い生涯を疾風怒濤のように駆け抜けた孤高の天才日本画家・速水御舟(1894-1935)。御舟は14歳にして松本楓湖の安雅堂画塾に入門し、はじめ歴史画から出発しますが、兄弟子で後の日本画改革のリーダーとなる今村紫紅の影響から印象派の点描に似た表現を用いて、当時新南画と呼ばれた画風へと変化させてゆきます。御舟は紫紅が立ち上げた赤曜会に参加後、中国の宋代院体画の花鳥画の世界に突き進み写実を極めます。その後、琳派の奥行を排した金屏風の大大画面へと再び舵を切ります。渡欧後、御舟は西洋絵画の群像表現に魅せられて人体表現へと向い、女性群像の大作に取り組もうとしていた矢先に、病に倒れ夭折してしまいます。享年40。御舟の突然の死は画壇に大きな衝撃を与え、その才能を惜む声が各界から寄せられました。

本年は速水御舟の没後80年の節目の年にあたります。本展はそれを記念して師の松本楓湖から兄弟子の今村紫紅、小茂田青樹、小山大月、牛田雞村、黒田吉郷ら赤曜会のメンバー、そして御舟一門の高橋周桑、吉田善彦など、御舟とその周辺の作家たちの作品を一堂に集め、御舟の画業を今再び回顧しようとするものです。近代日本画の頂点のひとつで、今なお燦然と光り輝く御舟芸術がどのように誕生し、継承されたかを検証します。

■記念講演会「速水御舟、飛躍の前夜—今村紫紅と赤曜会」

講師：八柳サエ(横浜美術館主任学芸員)
5月23日(土) 午後2時-3時半(開場1時半)
会場：世田谷美術館講堂 定員：当日先着150名
*入場無料、当日午前10時より整理券を配布 *手話通訳付

■オープンカレッジ(世田谷美術館美術大学特別セミナー)

「技法・材料から読み解く速水御舟」
講師：荒井 経(東京藝術大学大学院准教授)
5月26日(火) 午後2時-4時半(開場1時半)
会場：世田谷美術館講堂 定員：80名(申込多数の場合は抽選)
*当館HP「プログラム&イベント」申込フォーム、または往復はがきに住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、お申し込みください。締切は5月18日(月)消印有効。
参加費：500円(プレゼント付) *世田谷美術館美術大学受講生の方は無料

■100円ワークショップ

その場でどなたでも参加できる簡単な工作など。
日時：展覧会会期中の毎土曜日 午後1時-3時 *申込は時間中随時受付
会場：世田谷美術館地下創作室 参加費：100円

■同時開催：ミュージアム コレクションI

〈それぞれのふたり〉シリーズ「渡辺豊重と平野甲賀」
4月21日(火)-7月20日(月・祝)

■次回企画展

「金山康喜のバリ—1950年代の日本人画家たち」
7月18日(土)-9月6日(日)



吉田善彦《苔庭》1947年 世田谷美術館

交通案内

●東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、または美術館行バス
●A「美術館」下車徒歩3分 ●小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分 ●小田急線「千歳船橋」駅下車、田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分 ●来館者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

世田谷美術館 Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 Tel.03-3415-6011(代表)
展覧会のご案内：03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>